

Accuphase

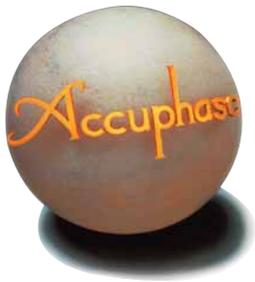
A/V CONTROL CENTER

VX-700

●最新の音声フォーマット対応デコーダー搭載 ●32bit、高速浮動小数点演算タイプDSP搭載 ●8ch全てに『MDS plus変換方式D/Aコンバーター』搭載 ●各スピーカーの自動レベル調整機能を装備 ●リップシンク機能装備 ●40×2行の文字表示による、各機能のスムーズな設定 ●オーディオ/ビデオ部を完全分離構造 ●オプションでラインダブラー、クアドラプラー増設可能



* 音声デコード・フォーマットの各ライセンスは申請中です。



ホームシアター・リファレンス——圧倒的サウンド臨場感、ハイエンド・ホームシアターの構築に最適なA/Vコントロール・センター。32ビット浮動小数点演算タイプの高速DSPを搭載。アナログ出力8ch全てに『MDS plus変換方式D/Aコンバーター』を採用。各種設定は、40×2行の文字表示によるスムーズな操作を実現。正確なスピーカーの自動レベル調整が可能。

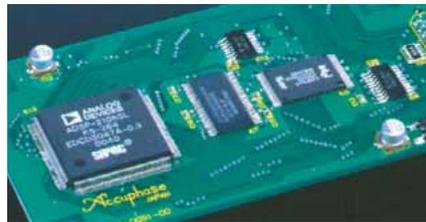
VX-700は、高品位な(音)と(映像)を求めて完成した、ハイエンド・ホームシアターが構築できる先進の『A/Vコントロール・センター』です。アキュフェーズが誇る最先端デジタル・オーディオ技術の創意を結集、オーディオ部・ビデオ部に高音質・高画質となる最高峰のクオリティを目指し、ホームシアターでの臨場感あふれる音場再生を実現します。

VX-700は、32ビット高速演算処理のDSPを2個搭載、アキュフェーズ・オリジナルのソフトウェアで動作する、多種の音声フォーマット対応デコーダーを装備しました。内蔵DACは、8ch全てに『MDS plus変換方式D/Aコンバーター』を採用、ピュア・オーディオと同等の高音質再生を実現しています。さらに、DSP処理後に外部の機器(DF-35やDG-28/DG-38など)が接続可能な、豊富なデジタル入・出力端子を装備しました。付属マイクを使用したスピーカーの自動レベル調整、精密なリップシンク機能、オーディオ関連の機能を7パターンメモリーに保存するなど、多層構造メニューを満載しています。この多彩な設定メニューをパネル面の大型ディスプレイ上に文字表示する独自の操作機能を採用、簡単な操作形態を実現しました。

VX-700はますます高画質化する映像信号にも対応しています。音声部と映像部は、電源部を含めた電気系統はもちろん、内部構造、リアパネルとも物理的に徹底したセパレート構造を採用し、オーディオ回路へのビデオ信号の混入を排除、相互干渉をなくしました。

32bit、高速浮動小数点演算タイプDSP搭載

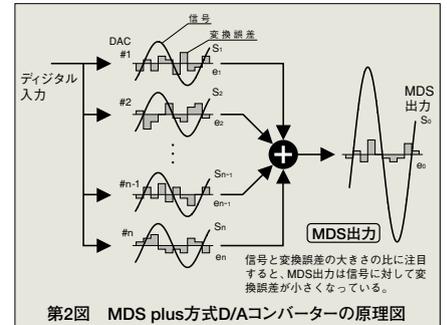
VX-700のオーディオ入力、全ての信号がDSP(Digital Signal Processor)でデジタル処理されます。デジタル信号処理の心臓部には、アナログ・デバイス社の高速演算処理のDSP『SHARC』を2個搭載、このDSPは強力な演算処理能力を持つため膨大なデータも余裕を持って処理することができ、微細な信号データも切り捨てることなく、正確な信号処理が可能です。



8ch全てに『MDS plus変換方式D/Aコンバーター』を搭載

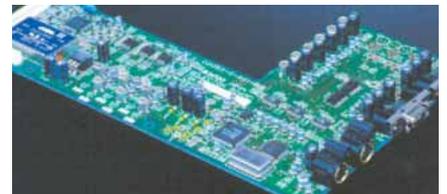
オーディオ出力のコンバーターに、驚異的な性能・音質を誇る、『MDS plus方式D/Aコンバーター』を搭載しました。MDS plus方式は、 $\Delta\Sigma$ (デルタ・シグマ)型D/Aコンバーターを複数個並列接続することで、大幅な性能改善を図った画期的なコンバーターです。並列加算後の全体の出力で、変換誤差は相互に打ち消されるため、変換精度やSN比、ダイナミック・

レンジ、リニアリティ、高調波ひずみなど、コンバーターにとって非常に重要な特性を一挙に向上させることができます。



高画質設計

本機は、コンポーネント信号やS信号など6系統のビデオ信号を入力、その切替回路が装備されています。このビデオ・スイッチャー部は、100MHz以上の広帯域高性能アンプを採用、ハイビジョンBS放送のダブラー信号まで伝送することができます。



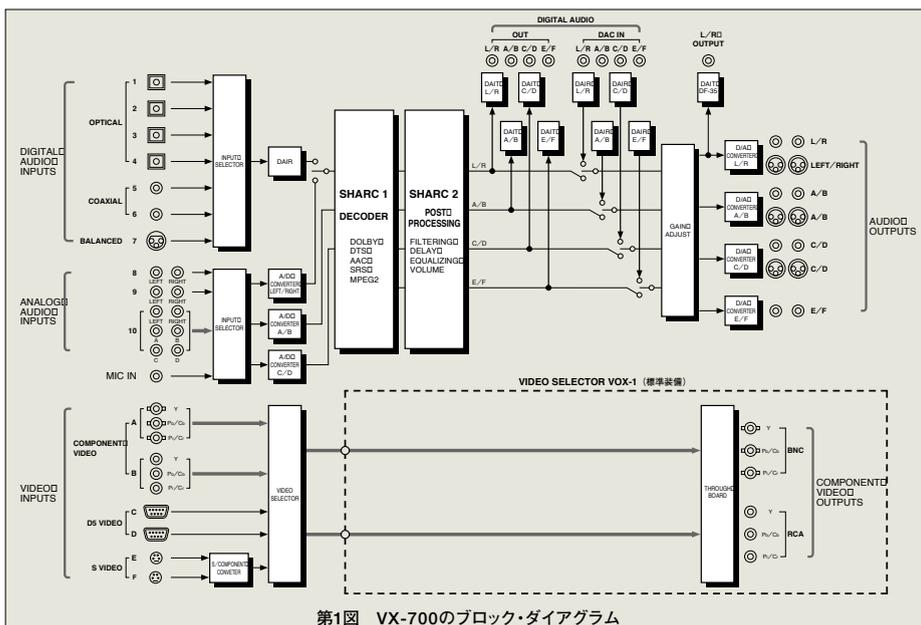
初期設定のまま、簡単にサラウンド演奏を楽しめるモードを用意

VX-700と入・出力機器やスピーカーを接続した後、種々の設定を省略、入力セレクターとボリューム操作のみで、出荷時の初期設定のまま簡単にサラウンド演奏を楽しむことができます。2chシステム(SRS TruSurroundによるサラウンド演奏)と5.1chシステム用モードを用意しました。

リップシンク機能を装備

映像信号と音声信号は異なったデジタル回路を通るため、映像の口(唇)の動きと音声の発音に時間の『ズレ』が生じます。映像に対し音声信号を遅らせてタイミングをとりますが、本機はこの時間の調整範囲を最大20.0フレーム(0.1ステップ)補正することができ、実際のソフトを再生しながら、きめ細かな調整が可能です。

AUDIO関連の設定項目を7パターンメモリーに保存。各メモリー、設定内容の確認/自由に呼び出し/変更/演奏が可能

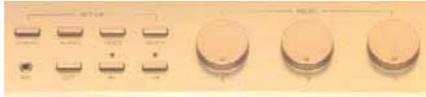


内部構造、リアパネルともにオーディオ部/ビデオ部を完全分離して、相互干渉を防止

メニュー構造による多彩な設定もスムーズな操作を実現。見やすい40文字×2行の大型パネル・ディスプレイ

本機は、階層構造による多彩な設定メニュー方式を採用、パネル面の大型ディスプレイに『40文字×2行』で設定状態を表示する、より簡単に確実な操作を実現しました。

- 設定に用いるジョグダイヤルやスイッチ類は、カンガルー・ポケット内に収納。
- 3個のジョグダイヤルによって、大分類→中分類→小分類と対話形式で設定。



- セットアップは、次の4モードに分かれスムーズな各種設定が可能。

[CONFIG]
*IN-1 :OPTICAL 1 *AUDIO MEMORY *MEMORY1
[CONFIG]モード:基本的な環境設定

[AUDIO SETUP]
*EFFECT MODE *SRS TruSurround
[AUDIO]モード:音声関連の設定

[VIDEO SETUP]
*LIP SYNC * 0.0 FRAME
[VIDEO]モード:ビデオ関連の設定

[QUICK]
*CHANGE AUDIO MEMORY *MEMORY1
[QUICK]モード:演奏中簡単に設定変更

多彩な機能・特長

- 最適なスピーカー設定、スピーカーの自動レベル調整機能を装備
- ディレイ設定は、全chとも20mまで(1cmステップ)の設定可能
- スモール設定のスピーカー及びサブウーファークットオフ周波数:10~355Hzまで25種類から選択
スロープ:12/18/24/48dB/オクターブから選択
- ディスプレイの明るさ調整:5段階選択
- ボリューム表示単位:リニア/dB選択
- アッテネーター・レベル:-6/-20/-30dB/MUTE選択
- 設定のセーフティ・ロック可能
- メモリー名や入力端子に希望文字入力可能

- アナログ入力のA/Dコンバーター:
サンプリング周波数48/96kHzを選択
- センター・スピーカーからのセリフ位置(高さ方向)を調整可能
- 再生中にセンター・レベル調整可能
- 再生中にLFE(サブウーファー)レベル調整可能
- アナログ入力、6chのレベル・バランス可能
- アナログ“F”出力端子の設定:
サブウーファー2個またはサラウンドバック・スピーカー2個仕様のどちらかを選択可能
- スピーカーのイコライザー特性を補正:
フロントL/Rは2バンド、センター/サラウンド/サラウンド・バックは6バンドの細かな調整可能

将来のバージョン・アップも万全の体制

機能などの変更または音声フォーマットの追加など本機のバージョン・アップをする場合、ソフトウェアのアップデートが可能です。『アップ

[CONF16]
UPDATE SYSTEM *UPDATE IN PROGRESS...

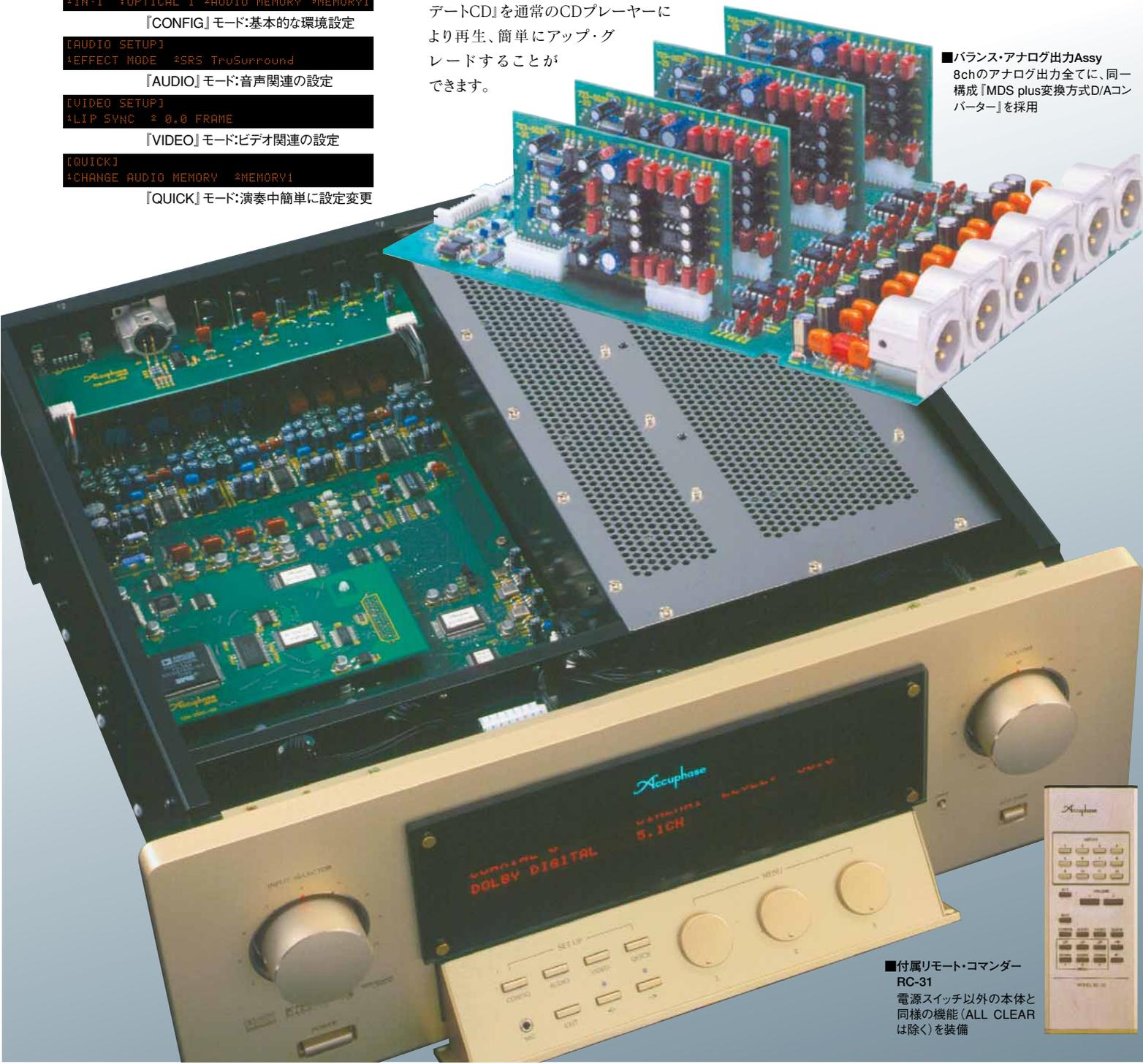
デートCD』を通常のCDプレーヤーにより再生、簡単にアップ・グレードすることができます。

外部コントロール用RS-232端子を装備

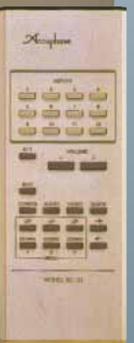
AMXなどの家庭内統合コントロール・システムに対応した、RS-232接続用端子を装備しました。



- バランス・アナログ出力Assy
8chのアナログ出力全てに、同一構成『MDS plus変換方式D/Aコンバーター』を採用

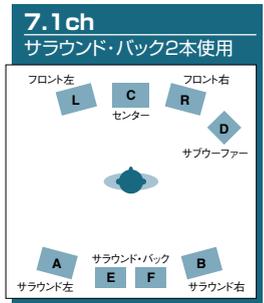
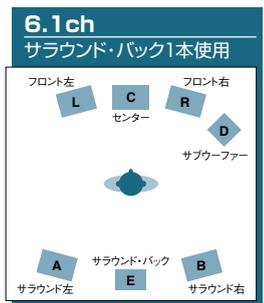
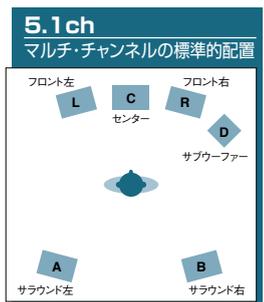
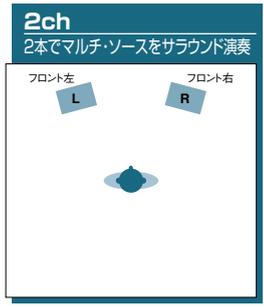
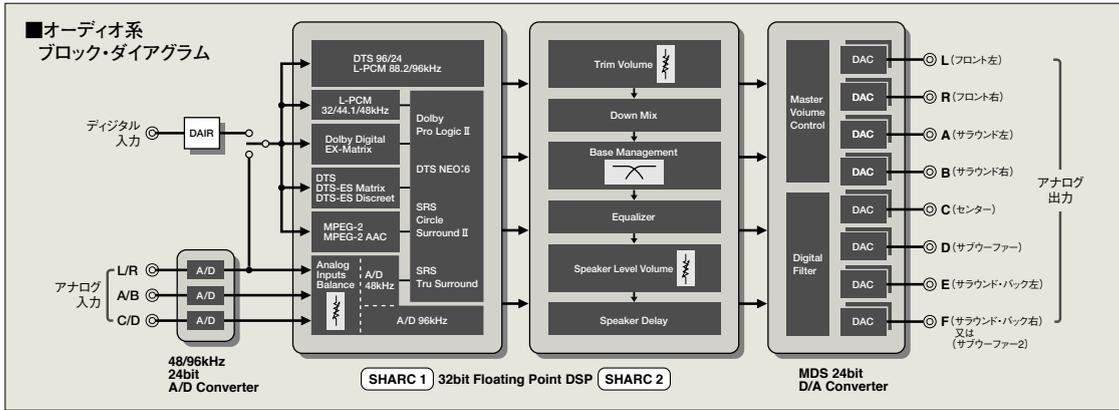


- 付属リモート・コマンダー RC-31
電源スイッチ以外の本体と同様の機能(ALL CLEARは除く)を装備



最新の音声フォーマット対応デコーダー搭載

本機は、映画・音楽関係などさまざまなジャンルやソースの魅力を最大限に引き出す、多彩な音声デコーダーを搭載しています。音声フォーマットによってサラウンド用スピーカーの設定が異なりますが、家庭での再生環境から、一番多く楽しむソフトを中心にスピーカー・セッティングを考え、最適なサラウンドをお楽しみください。



入力信号のフォーマットを自動選択（エフェクトモードを「Direct」に設定）

Dolby Digital

フロントL/R、センター、サラウンドL/Rの5chとサブウーファースの0.1ch、各チャンネルが完全に独立したデジタル・ディスクリット方式の5.1chで記録されています。チャンネル・セパレーションも優れているため、音の遠近感、移動感、定位感などリアルな臨場感を生み出します。

COAXIAL 5	MEMORV1	LEVEL: 50.0
DOLBY DIGITAL	5.1CH	
DTS	5.1CH	

DTS-ES

DTS 5.1ch方式にサラウンド・バックを追加して、合計6.1chのサラウンド再生が行われ、360度の全方向の空間表現を可能にします。

マトリクス6.1

サラウンド・チャンネルにマトリクス・エンコードされている信号を、再生時にマトリクス処理でサラウンド・バック信号を取り出し6.1chとします。

DTS-ES MATRIX	6.1CH
---------------	-------

ディスクリット6.1

完全に独立したフルレンジのサラウンド3チャンネル、計6.1ch全てにディスクリット記録/再生を行う方式です。

DTS-ES DISCREET	6.1CH
-----------------	-------

Dolby Digital EX

ドルビー・デジタル5.1chにサラウンド・バックchを追加（スピーカー1本:6.1chまたは2本:7.1ch）して、空間表現力・定位感を高め、回転や頭上を通過する移動音効果により音像を生々しく体感できます。

DOLBY DIGITAL EX MATRIX	
-------------------------	--

DTS 96/24

DTS 96/24は、DTS社が開発した最新のサラウンド・フォーマットで、高画質な映像と高音質サラウンドを同時に楽しめます。高音質の圧縮収録により、96kHz/24bitのPCMと同等の周波数帯域、ハイエンド・オーディオレベルのサラウンドが可能となりました。

DTS 96/24	5.1CH
-----------	-------

MPEG2 AAC

日本ではBSデジタル放送の圧縮音声規格として採用されました。「AAC 5.1ch」は、BSデジタル放送の映画や音楽番組を5.1chマルチ音声で演奏できます。

MPEG-2 AAC	5.1CH
------------	-------

リニアPCM

サンプリング周波数96kHzまでの2chデジタル・ソースを演奏します。

L-PCM	44.1kHz 2.0CH
-------	---------------

アナログ入力信号

アナログ2ch信号および6ch信号を、A/Dコンバーターで変換して演奏します。

ANALOG IN	96kHz 5.1CH
-----------	-------------

エフェクト・モードを設定して楽しむサラウンド演奏

2.1ch～5.1chサラウンド・ソース ⇒2chでパーチャル・サラウンド

Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AACなど『2.1ch～5.1chサラウンド・ソース』を入力して、フロント左右のスピーカーのみで、パーチャル・サラウンドを楽しむことができます。ビュー・オーディオ主体で大型のスピーカー・システムを構成している場合や家庭環境でたくさんのスピーカーを設置できない場合に有効なモードです。

SRS TruSurround (ツルサーラウンド) : 初期設定

DOLBY DIGITAL	5.1CH	SRS TruSurround
DTS	5.1CH	SRS TruSurround

2ch音声信号⇒4.0/5.0chまたは6.1chのサラウンド演奏

Dolby Surround、DTS、リニアPCMなどの2chソースやCDプレーヤーなどの2chデジタル/アナログ・ソースなどを入力して、4.0/5.0chまたは6.1chの高品位サラウンド演奏を楽しめます。

Dolby Pro Logic II

【モード:Movie・Music (5.0ch) , Pro Logic (4.0ch)】

DOLBY DIGITAL	2.0CH	DOLBY PLII MOVIE
L-PCM	44.1kHz 2.0CH	DOLBY PLII MUSIC
ANALOG IN	48kHz 2.0CH	DOLBY PRO LOGIC

DTS Neo:6

【モード:Cinema・Music (6.1ch)】

DTS	2.0CH	DTS NEO:6 CINEMA
L-PCM	48kHz 2.0CH	DTS NEO:6 MUSIC

SRS Circle Surround II

【モード:Cinema・Music・Mono (6.1ch)】

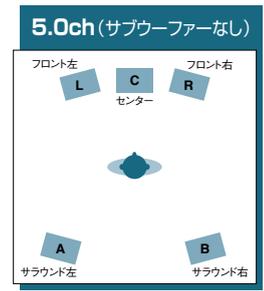
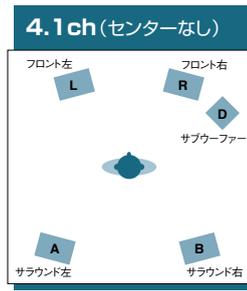
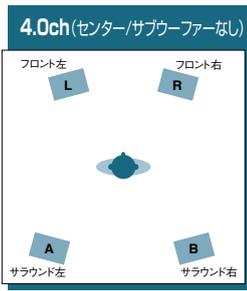
DOLBY DIGITAL	2.0CH	SRS CSII CINEMA
ANALOG IN	48kHz 2.0CH	SRS CSII MUSIC

ダウン・ミックス演奏

スクリーン等でセンター・スピーカーの設置が難しい場合や、部屋の関係でサブウーファーを置けない場合でも、5.1チャンネル以上のソースを4.0ch（センターとサブウーファー無し）/4.1ch（センター無し）/5.0ch（サブウーファー無し）にダウン・ミックスして演奏することができます。

センターchまたはサブウーファーch個々のレベルを、設定メニューの「センター・レベル調整」や「LFEレベル調整」で可変することができ、ダウン・ミックス時でも最適なサラウンド演奏を楽しむことができます。

- スピーカー設定で、センターchまたはサブウーファーchを《NONE:接続しない》に設定する
- 《NONE》設定のセンターchまたはサブウーファーchの入力信号は、フロントL/Rチャンネルに振り分けられて再生



スピーカーの自動レベル調整機能を装備、測定マイク付属

最適なサラウンド演奏のためには、リスニング・ポジションで各スピーカーからの音量レベルを一定に合わせる必要があります。本機は測定用マイクを付属していますので試聴ポイントに設置、テスト・トーンを出力して自動調整による精度の高い設定が可能です。

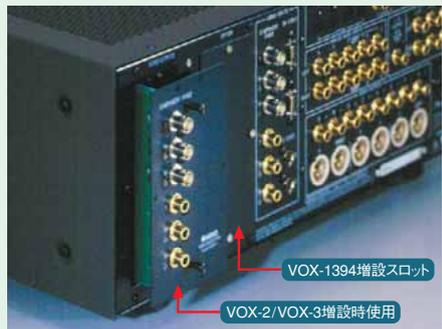


オプション・ボード

本機は、ビデオ信号の切替回路が装備され、このビデオ・スイッチャー部は、100MHz以上の広帯域高性能アンプを採用しています。映像出力部分は、基本的な「VOX-1」が標準装備されていますが、発売予定のオプション「VOX-2」や「VOX-3」により高機能化が可能となります。

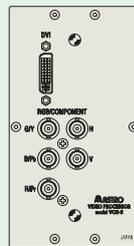
また、IEEE1394によるデジタル・リンクが可能な「VOX-1394」も発売を予定しています。

●取り付けは、リアパネル側にあるオプション・スロットに挿入します。



VOX-2 : ラインダブラー (倍密)

- NTSCハイビジョン対応
- 525i→525p
- 1125i→1125p
- 2-3/2-2プルダウン
- 調整用テストパターン



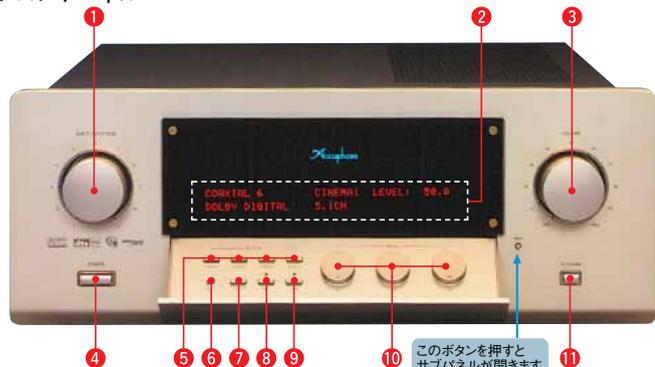
VOX-3 : クアドラプラー (4倍密)

- ハイビジョン対応ラインダブラー+スケイラー
- 525i→525p
- 1125i→1125p
- VGA/SVGA/XGA/SXGA/クアドラプラー (1280X960)
- 2-3/2-2プルダウン
- 調整用テストパターン

VOX-1394 : デジタル入力ボード

- IEEE1394によるデジタル・リンク

■フロントパネル



■リアパネル



ASTROは、アストロデザイン株式会社の登録商標です。

- 1 入力セレクター
- 2 ディスプレイ部
- 3 ボリューム
- 4 電源スイッチ
- 5 セットアップ選択ボタン
CONFIG AUDIO VIDEO QUICK
- 6 マイク付属・ジャック
- 7 EXIT (設定解除) ボタン
- 8 メニュー階層戻り (←) ボタン
- 9 メニュー階層進む (→) ボタン
- 10 メニュー設定ノブ
MENU 1 MENU 2 MENU 3
- 11 アッテネーター・ボタン
- 12 ビデオ出力端子 (標準装備 : VOX-1)
- 13 ビデオ入力端子

- 14 アナログ・オーディオ入力端子
- 15 デジタル・オーディオ入力端子
- 16 デジタル出力端子 (DF-35用)
- 17 外部コントロール端子 (RS-232)
- 18 デジタル入・出力端子
(外部DAC、DG-28/DG-38用)
- 19 オーディオ出力端子
(アンバランス8ch、バランス6ch)
- 20 AC電源コネクター

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic、Surround EX及びダブルD記号は、Dolby Laboratoriesの商標です。
- “DTS”、“DTS Digital Surround”、“DTS-ES Extended Surround”および“Neo:6”はDTS(Digital Theater Systems)社の商標です。
- Cirque SurroundII、TruSurroundとSRS SoundはSRS Labs,Inc.の商標です。
- “AAC”ロゴは、Dolby Laboratoriesの商標です。

VX-700 仕様及び保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

オーディオ部

- デジタル入力 OPTICAL フォーマット : EIAJ CP-1201準拠
COAXIAL フォーマット : EIAJ CP-1201/AES 3準拠
BALANCED フォーマット : EIAJ CP-1201/AES 3準拠
サンプリング周波数
32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz
(各16~24bit 2ch PCM)
- アナログ入力 A/Dコンバーター : サンプリング周波数48/96kHz、24ビット
- デジタル出力 COAXIAL フォーマット : EIAJ CP-1201/AES 3準拠
- 周波数特性 0.5~50,000Hz +0 -3.0dB
- D/Aコンバーター 24ビット MDS方式
- 全高調波ひずみ率 0.001% (20~20,000Hz間)
- S/N 113dB
- ダイナミックレンジ 100dB
- チャンネル・セパレーション 90dB (20~20,000Hz)
- 出力電圧・出力インピーダンス BALANCED/UNBALANCED :
2.4V (0dB)、9.4V (Maximum) 50Ω
- アッテネーター -20dB (初期設定)
- ボリューム・コントロール
dBモード : Minimum、-120.0dB~+12.0dB、Maximum
Linearモード : Minimum、0.5~99.5 (0.5ステップ)、Maximum
速度感知回転方式

ビデオ部

- Sビデオ端子 入力レベル/インピーダンス Y信号 : 1Vp-p/75Ω
C信号 : 0.286Vp-p/75Ω
周波数特性 5Hz~10MHz +0 -0.3dB
- コンポーネント・ビデオ端子 入・出力レベル/インピーダンス Y信号 : 1Vp-p/75Ω
Pb/Cb、Pr/Cr信号 : 0.7Vp-p/75Ω
DC~100MHz +0 -0.3dB
周波数特性 1.5Vp-p以上

総合

- 電源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 55W
- 最大外形寸法 幅 475mm × 高さ 195mm × 奥行 452mm
- 質量 20.1kg

- 付属品
- マイク付属 AM-28
 - マイク付属ケーブル
 - マイク付属ホルダー
 - プラグ付オーディオケーブル (1m)
 - AC電源コード
 - リモート・コマンド RC-31



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 密閉されたラック内や水、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しない。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

※本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

Accuphase

ACCUPHASE LABORATORY INC.
アキュフェーズ株式会社
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052
http://www.accuphase.co.jp/

K0210Y PRINTED IN JAPAN 850-0120-00(AD1)